

2022年5月3日晴れ、午前中は「⑤埴輪と遊ぶみち」を歩き終え、午後は引き続き本コースを歩く。
距離もそれぞれ8kmと9kmであり、一日の総合距離としては丁度良い。

午後通る山武町(さんぶちょう)は北総台地(30~40m)の丘陵地帯となっており、比較的起伏が多い。主要産業は農・林業で建具材、建築材として優れた山武杉の産地として有名。木工業も盛ん。

今日は、ゴールのJR成東駅前旅館に宿泊出来るから、日暮れまでにゴールすれば良いので気楽に歩く。



「⑥山武杉のみち」案内板。古和本郷バス停そばにあり(首都圏自然歩道連絡協議会)



⑥山武杉のみち 概念図



コースはバス通りを離れて右折、集落の道に入る



集落を離れ、少しずつ標高を上げながら、北総台地に向かう



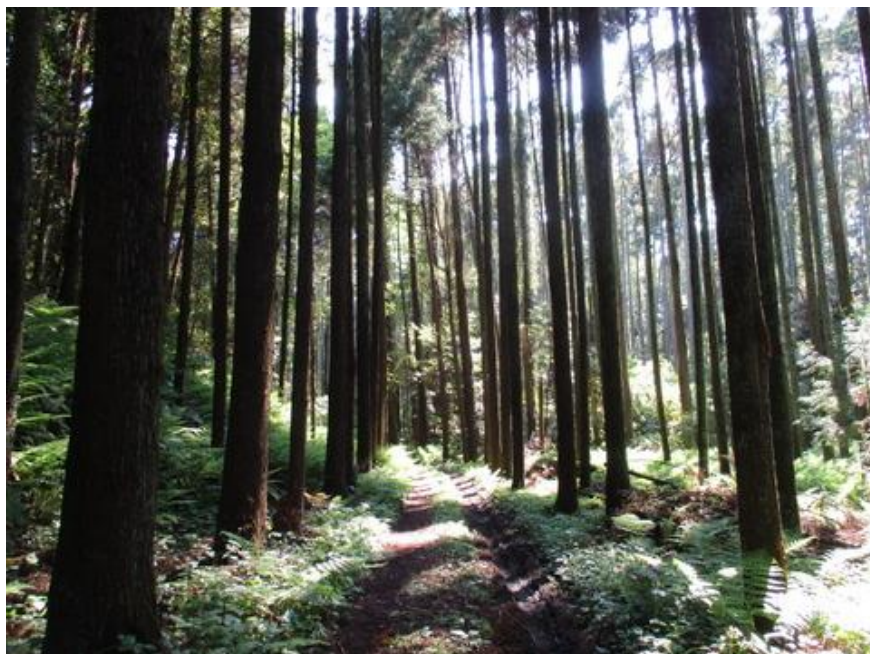
台地の上に出ると、杉の美林が目に飛び込んできた



これが山武杉か、すらりとして幹が太く、下枝が少ない



マイナスイオンがいっぱいで、呼吸すると気持ち良い



町に近く、切り出すのも便利だから、建築材料としても最適だ



木が高いから日差しが下まで届かず、シダ類が繁茂している



素敵な森林浴を存分楽しんだ



杜を出て平地に下ると、今度は広大な田園が広がる



台地と台地の谷合いが広大な田圃となっていて、豊かな自然が融合している



その中を縫うように、関東ふれあいの道のトレイルが続く



田植は真っ盛り



道標もいい所に置かれているね



珍しく石標もあった。石の色が距離の中間点を示しているのが残念



沢山の案内板がごちゃごちゃ出てくれば、町が近い



光明寺に立ち寄ると



マラソンの小出監督と高橋尚子さんの足型レリーフがあった。二人はここでトレーニングのキャンプを張ったと書かれている



「観音寺の毘沙門天」をお参りすれば、ゴールはすぐだ



今日のゴールは JR 成東線の成東駅、16 時ゴール。7 時間歩いた事になる



昔ながらの、駅前旅館があった。



旅館は駅前食堂も経営しているから、私もここでゴールの乾杯としよう
関東ふれあいの道の神髄はこの歓談にある、地元の人も暖かく私を迎えてくれる



ビールのお通しに出たのは見慣れない貝。その名は「きさご」(きしゃご)九十九里浜特産の地元のみ流通で、メニューにない珍しいつまみとの事

この項完

[参考タイム]古和本郷(12:55)→山武杉並木(13:05)→県道に出る(15:20)→毘沙門天 15:30-15:35)→JR 成東駅(16:00)ゴール駅前旅館泊 (⑥の距離 14.5km)・一日の合計 26.2km)

関東ふれあいの道(千葉)⑦伊藤左千夫のみちに続く